

Recycle: リサイクル(リサイクル率)取組の上位10位市町村

<自治体>リサイクル取組上位10市町村

(単位:%)

人口10万人未満		人口10万人以上50万人未満		人口50万人以上				
1.	宮崎県 椎葉村	77.2 %	1.	神奈川県 鎌倉市	48.6 %	1.	東京都 八王子市	27.7 %
2.	長野県 筑北村	75.8 %	2.	岡山県 倉敷市	48.5 %	2.	愛知県 名古屋市	25.5 %
3.	長野県 平谷村	74.7 %	3.	東京都 調布市	43.6 %	3.	神奈川県 横浜市	24.6 %
4.	鹿児島県 志布志市	73.1 %	4.	東京都 小金井市	39.6 %	4.	千葉県 千葉市	22.9 %
5.	徳島県 上勝町	72.2 %	5.	新潟県 長岡市	38.9 %	5.	埼玉県 さいたま市	22.4 %
6.	鹿児島県 大崎町	69.6 %	6.	神奈川県 横須賀市	38.8 %	6.	千葉県 船橋市	21.0 %
7.	新潟県 小千谷市	68.0 %	7.	千葉県 我孫子市	37.7 %	7.	兵庫県 姫路市	20.5 %
8.	北海道 本別町	65.5 %	8.	神奈川県 海老名市	37.3 %	8.	静岡県 浜松市	19.8 %
9.	長野県 清内路村	64.2 %	9.	東京都 三鷹市	37.1 %	9.	新潟県 新潟市	17.8 %
10.	長野県 川上村	61.1 %	10.	東京都 国分寺市	35.4 %	10.	静岡県 静岡市	16.9 %

<参考>リサイクル率定義

リサイクル率 = (直接資源化量 + 中間処理後再生利用量 + 集団回収量) / (ごみ総排出量 + 集団回収量) × 100 (%)

品目別ガイドライン 取組状況一覧 【目標及び今後の取組】

1. 紙	古紙利用率 62% [H22年度]	18. カセットボンベ	中身残留缶対策の実施
2. ガラスびん	カレット利用率 91% [H22年度]	19. エアゾール缶	中身残留缶対策の実施
3. スチール缶	リサイクル率85%以上維持	20. 小形ガスボンベ	適正処理のための広報の実施
4. アルミ缶	回収・再資源化率 85%以上維持	21. 消火器	回収率 60% [H17年度]
5. プラスチック	PETボトル回収率 80%以上 [H26年度]	22. ぱちんこ遊技機	マテリアルリサイクル目標率 55% [H17年度] (ぱちんこ遊技機及び回胴式遊技機)
6. 自動車	リサイクル率 85% [H14年～H26年]	23. パーソナルコンピュータ 及びその周辺機器	再資源化率 [H15年度] デスクトップ型 50%、ノートブック型 20% CRTディスプレイ 55%、LCDディスプレイ 55%
7. オートバイ	リサイクル率 85% [H14年～H26年]	24. 複写機	共同回収システムの拡大を検討中
8. タイヤ	リサイクル率 90%以上 [H17年]	25. ガス・石油機器	アセスメントガイドラインの見直し
9. 自転車	リサイクル可能率 67%	26. 繊維製品	リサイクルシステム構築に向け検討中
10. 家電製品	再商品化率 エアコン 60%、テレビ 55%、 冷蔵庫50%、洗濯機50%	27. 潤滑油	分別方法を検討し、リサイクルの効率化を図る
11. スプリングマットレス	リサイクルシステム構築に向け検討中	28. 電線	配電線のリサイクル向上に向けた取組実施
12. オフィス家具	3Rの推進に向けた具体的方策を検討中	29. 建設資材	塩ビ管継手の受入拠点の拡充
13. カーペット	工程内発生屑 H13年度比20%減[H18年度]	30. 浴槽及び浴室ユニット	材料情報の提供方法等について検討中
14. 布団	工程内原材料くず 4.5%～4%以下に削減	31. システムキッチン	材質表示方法等について検討中
15. 乾電池・ボタン電池	回収箱を6,000個作成・配布	32. 携帯電話・PHS	回収・リサイクル目標値の設定を検討中
16. 小形二次電池	再資源化率 小形シール鉛蓄電池 50%、ニカド電池 60%、 ニッケル水素電池 55%、リチウム二次電池 30%	33. 蛍光灯等	小形・高効率化、長寿命化開発の実施
17. バッテリー	リサイクルシステムの再構築に向けた検討の実施	34. 自動販売機	用管理物質を定め使用状況の把握を行う
		35. レンズ付きフィルム	回収の促進に向けた取組を実施

※着色部分の品目については資源有効利用促進法で指定

業種別ガイドライン 取組状況一覧 【目標及び今後の取組】

1. 鉄鋼業	最終処分量をH10年度比でH22年度に50%削減
2. 紙・パルプ製造業	最終処分量をH10年度比でH22年度に57%削減
3. 化学工業	最終処分量をH10年度比でH22年度に75%削減
4. 板ガラス製造業	最終処分量をH10年度比でH22年度に42%削減
5. 繊維工業	汚泥等の減量化に向け、中間処理の強化・リサイクル用途拡大を促進する。
6. 非鉄金属製造業	最終処分量削減目標(H10年度比、H22年度目標) 日本鋳業協会:37%、日本伸銅協会:76%、日本アルミニウム協会:14%、 日本アルミニウム合金協会:10%、日本電線工業会:50%
7. 電気事業	H22年度最終処分率をH16年度と同程度に維持(H16年度最終処分率:約8%)
8. 自動車製造業	最終処分量をH10年度比でH22年度に87%削減
9. 自動車部品製造業	生産工程から生じる廃棄物の最終処分量をH10年度比でH22年度までに96%削減
10. 電子・電気機器製造業	最終処分量をH15年度比でH22年度に5%削減
11. 石油精製業	最終処分量をH2年度比でH22年度に67%削減
12. 流通業	包装材使用量をH12年比でH22年に25%削減 レジ袋使用量をH12年度比でH22年度に35%削減
13. リース業	製品の処理実態等を把握し、効率的なリサイクル等の推進するため、問題点の解決に向け検討中
14. セメント製造業	セメント1トン当たりの廃棄物・副産物利用量のH22年度目標を400kgとする。
15. ゴム製品製造業	最終処分量をH13年度比でH22年度に45%以上削減
16. 石炭鋳業	最終処分量をH10年度比で80%以上削減
17. ガス業	最終処分量をH10年度比でH22年度に25%削減
18. 工場生産住宅製造業	生産段階廃棄物発生量をH13年度比でH22年度に80%以上削減

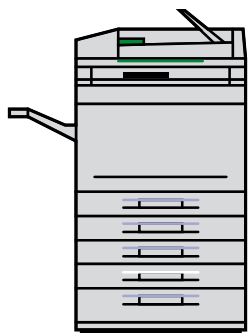
※着色部分の業種については資源有効利用促進法で指定

産業構造審議会 環境部会 廃棄物・リサイクル小委員会
基本政策WG 提示資料

3R法(資源有効利用促進法)への
JBMIA (複写機業界)の自主的取り組み状況

2007年4月5日

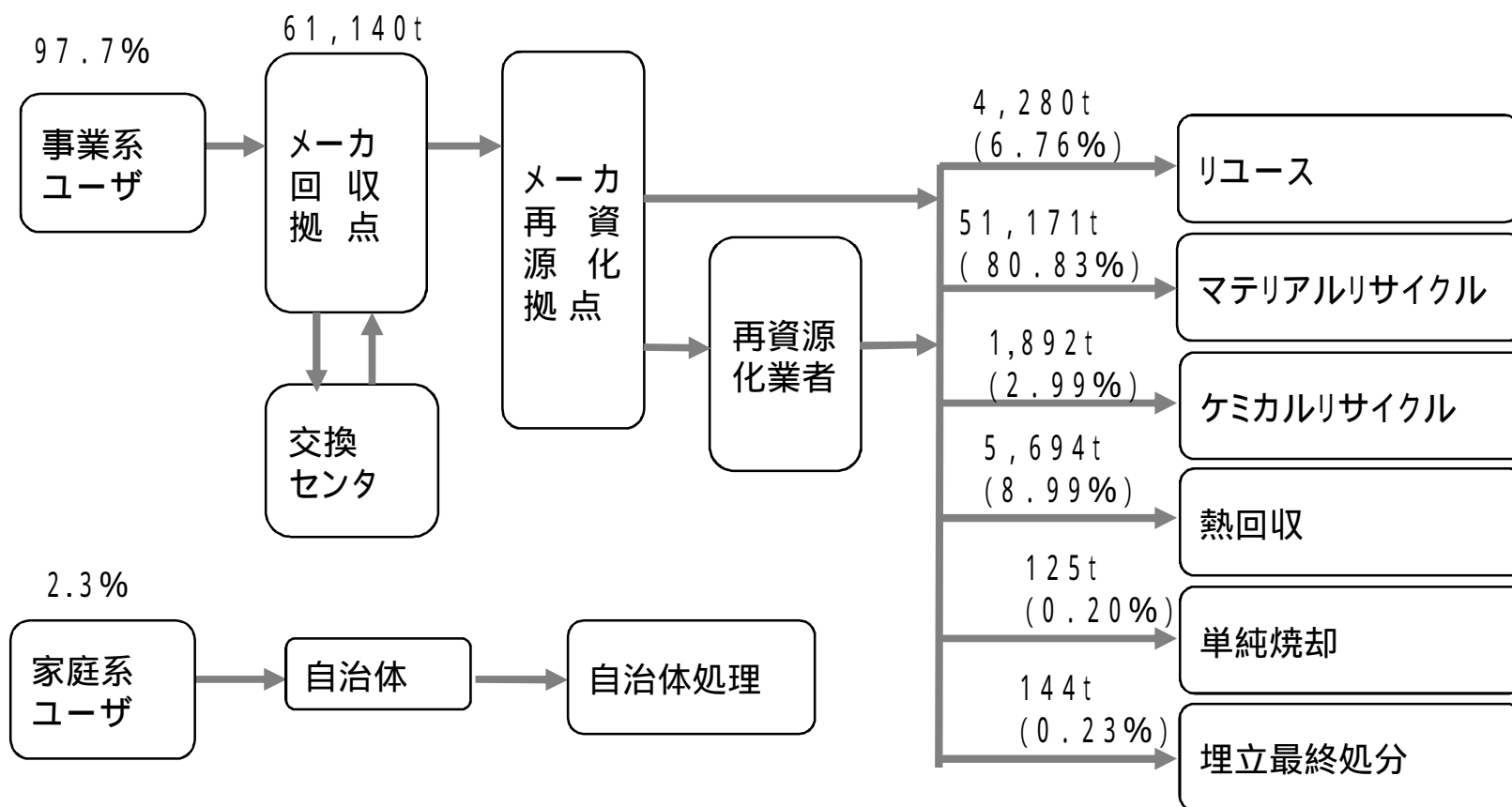
JBMIA 複写機・複合機部会 部会長 齊藤 穰



社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

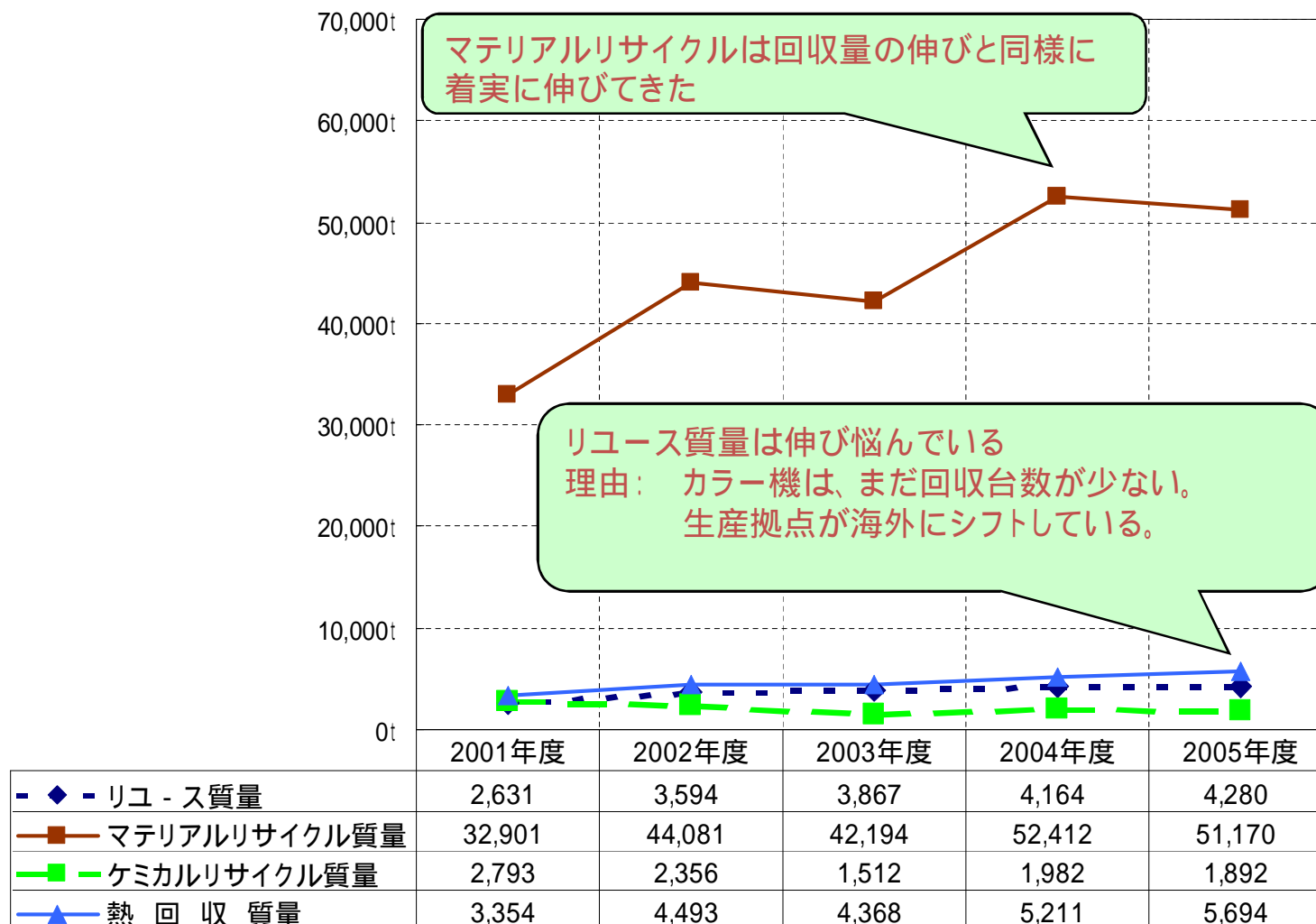
回収リサイクルのフロー

2005年度の実績調査結果



- ・使用済み複写機のほとんど(事業系比率97.7%)は、販売のルート of 逆を通してメーカーへ回収されている。
- ・回収されているほとんどが有効にリサイクルされている。

リサイクル質量の内訳の年度別推移



ぱちんこ遊技機・回胴式遊技機製造業の 資源有効利用促進法における3Rへの 取組状況及び進捗状況について

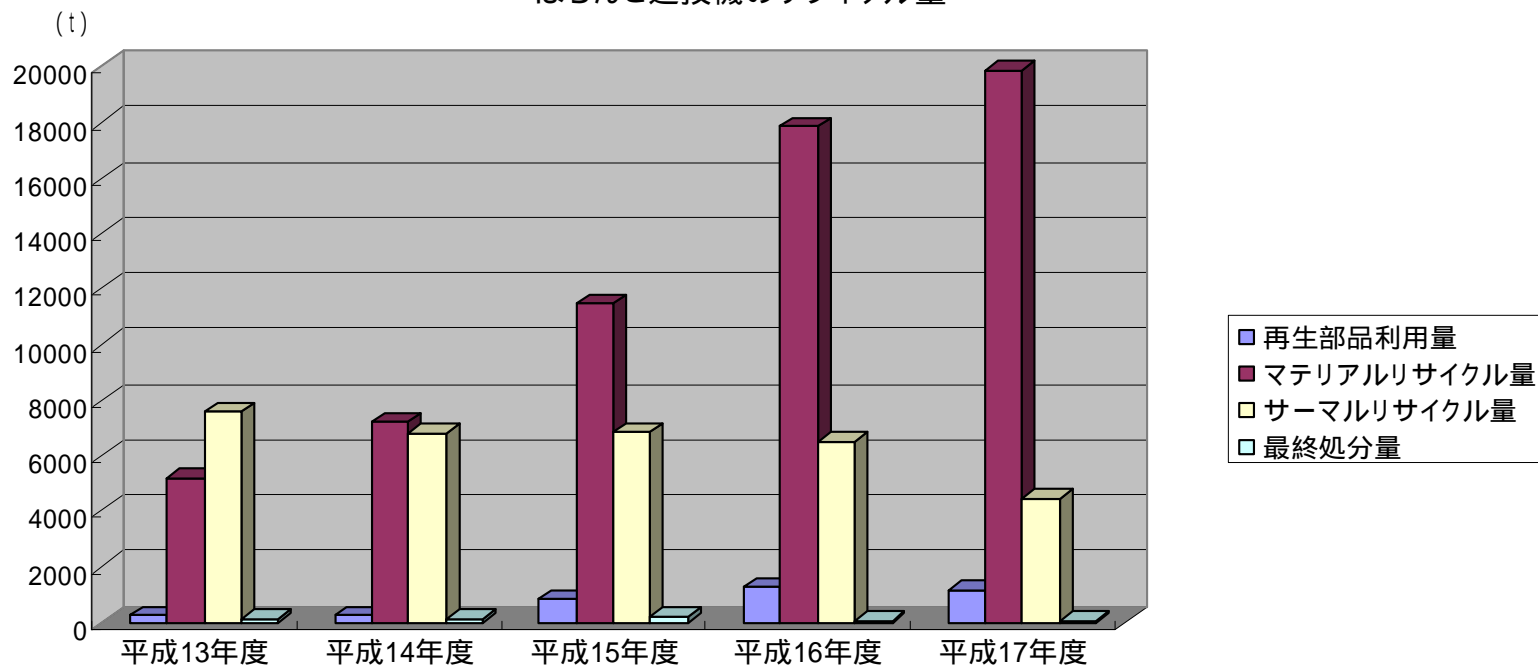
2007.3.1

日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合

回収・リサイクルの取組

ぱちんこ遊技機のリサイクル処理状況

ぱちんこ遊技機のリサイクル量

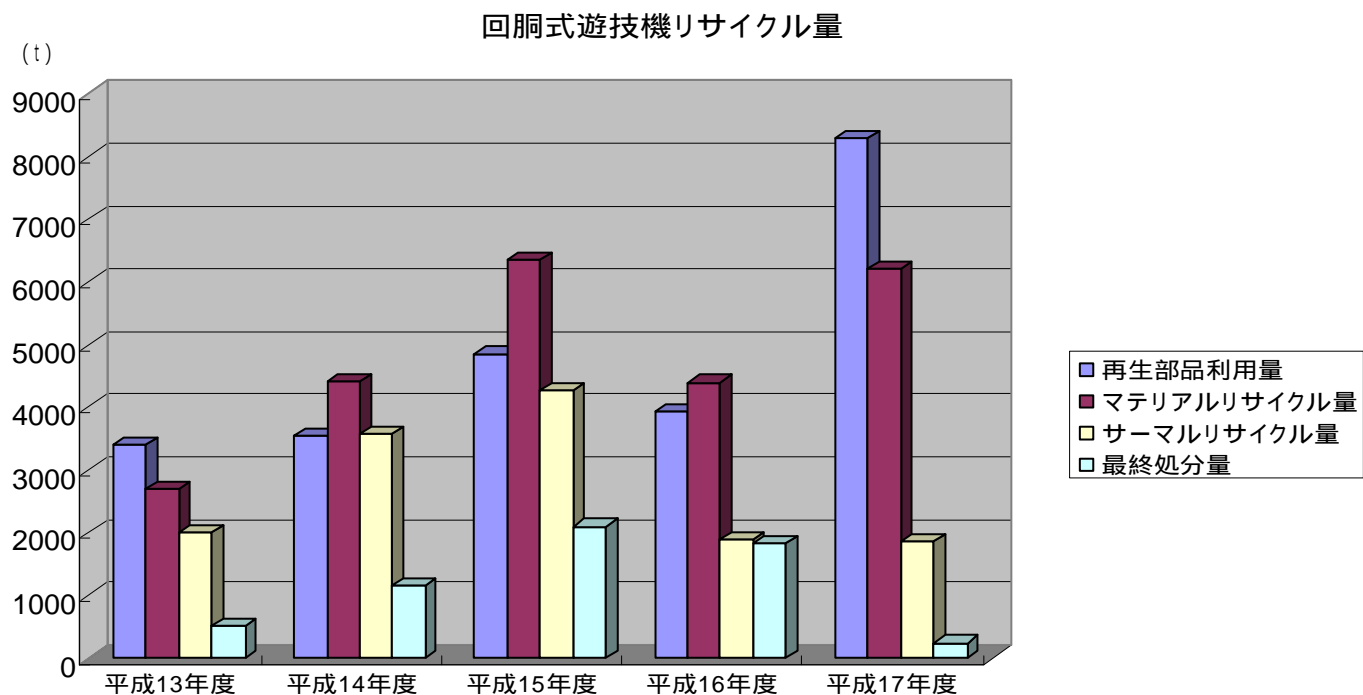


	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
処理量(t)	13171.4	14418.1	19325.8	25718.7	25563.5
再生部品利用量	249.3 (1.89%)	257.9 (1.79%)	817.4 (4.23%)	1283.5 (4.99%)	1164.1 (4.55%)
マテリアルリサイクル量	5199.4 (39.4%)	7222.8 (50.1%)	11475.6 (59.3%)	17841.3 (69.3%)	19863.8 (77.7%)
サーマルリサイクル量	7588.9 (57.6%)	6797.2 (47.1%)	6832.0 (35.4%)	6514.0 (25.3%)	4467.3 (17.5%)
最終処分量	133.8	140.2	200.8	79.9	68.3

(処理量はメーカーによる処理分を示す)

回収・リサイクルの取組

回胴式遊技機のリサイクル処理状況



	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
処理量(t)	8596.6	12698.0	17566.0	12075.0	16613.0
再生部品利用量	3398.4 (39.5%)	3555.0 (27.9%)	4850.2 (27.6%)	3942.2 (32.6%)	8294.0 (49.9%)
マテリアルリサイクル量	2694.4 (31.3%)	4414.0 (34.8%)	6354.4 (36.1%)	4402.1 (36.5%)	6212.0 (37.3%)
サーマルリサイクル量	1994.8 (23.2%)	3574.0 (28.1%)	4266.5 (24.2%)	1892.3 (15.7%)	1863.0 (11.2%)
最終処分量	509.0	1155.0	2094.9	1838.4	244.0

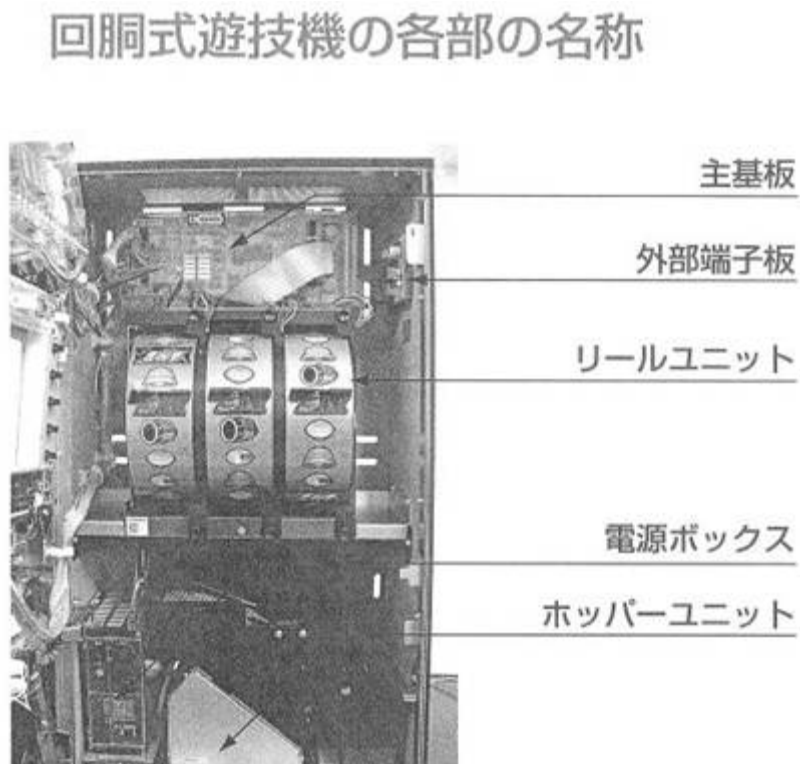
(処理量はメーカーによる処理分を示す)

資料: 日本電動式遊技機工業協同組合

回収・リサイクルの取組

【使用済み回胴式遊技機の処理形態】

回胴式遊技機の部品の再利用



再利用可能な部品

		平均重量(kg)
リールユニット	図柄を表示する回転体と駆動装置	4.50
ホッパーユニット	遊技メダルを収納する容器と払い出し装置	2.50
電源ボックス	遊技機の電源装置	1.80
ハーネス	基板同士を接続するための配線	2.50
キャビネット	遊技機の筐体	11.80
フロントドアユニット	遊技機の前面ドア部分	10.40

マテリアルリサイクルについては、ぱちんこ遊技機と同様に処理されている。

資料: 日本電動式遊技機工業協同組合